

ムラマツフルート モデル変遷

○1955年(昭和30)以前についてはモデル名の確認できず

総洋銀製

モデル名	開始	終了	仕様	トーンホール	ピッチ
50号	1955頃	1958		引き上げ	※1
71号	1955頃	1961頃	平型リップ	引き上げ	440
72号	1955頃	1961頃	波型リップ	引き上げ	440
73号	1955頃	1961頃	波型リップ/Cis トリルキー	引き上げ	440
Model 101	1961頃	1964頃	平型リップ	引き上げ	440
Model 102	1961頃	1964頃	波型リップ	引き上げ	440
Model 103	1961頃	1964頃	平型リップ/Cis トリルキー	引き上げ	440
Model 104	1961頃	1964頃	波型リップ/Cis トリルキー	引き上げ	440
Model 111	1964頃	1967	平型リップ	引き上げ	440
Model 112	1964頃	1967	波型リップ	引き上げ	440
Model 113	1964頃	1967	(旧)ストレートリップ	引き上げ	440
Model 115	1964頃	1967	(旧)ストレートリップ/カバードキー	引き上げ	440
Model 116	1964頃	1967	(旧)ストレートリップ/リングキー	引き上げ	440
M-21	1967	1969	(旧)ストレートリップ	引き上げ	440

◆31号 学生フルート(真鍮 ニッケルメッキ)、35号 学生新型、61号、62号 → 1955年2月の「楽器商報」に掲載

銀製リップ/その他 洋銀製

モデル名	開始	終了	仕様	トーンホール	ピッチ
M-70	1975	1979	(旧)ストレートリップ	引き上げ	440
M-85	1980	1988	(旧)ストレートリップ	引き上げ	442
	1988	1989	ストレートリップ	引き上げ	442
	1989	1995	ストレートリップ	引き上げ	442

銀製頭部管/その他 洋銀製

モデル名	開始	終了	仕様	トーンホール	ピッチ
81号	1955頃	1961頃		引き上げ	440
Model 121	1961頃	1964頃	平型リップ/Cis トリルキー	引き上げ	440
Model 122	1961頃	1964頃	波型リップ/Cis トリルキー	引き上げ	440
Model 123	1961頃	1964頃	(旧)ストレートリップ/Cis トリルキー	引き上げ	440
~頭部管銀製モデル製作中断~	1964頃	1967頃			
M-40	1967	1972	(旧)ストレートリップ M-R40 はリングキー	引き上げ	440
M-60	1972	1975	(旧)ストレートリップ M-R60 はリングキー	引き上げ	440
M-95	1975	1980	(旧)ストレートリップ M-R95 はリングキー	引き上げ	442
M-120	1980	1988	(旧)ストレートリップ M-R120 はリングキー	引き上げ	442
	1988	1995	ストレートリップ	引き上げ	442
EX	1995	-	ストレートリップ	引き上げ	442

◆65号 → 1955年2月の「楽器商報」に掲載

モデルチェンジ ほか

学生フルート※2

ポストの下に座金が付く/トーンホールのカーリング開始
 ポストの下に座金が付く/トーンホールのカーリング開始
 ポストの下に座金が付く/トーンホールのカーリング開始
 ポストの下に座金が付く/トーンホールのカーリング開始
 ポストの下に座金が付く/トーンホールのカーリング開始 リングキー開始

※1. 440と思われるが資料なし ※2. 低音CとC#, Dトリルキー、左手親指Bキーを省略したフルート

モデルチェンジ ほか

ピッチ変更 A=440Hz → 442Hz(時期不明) 新スケール採用

1988年2月 コインシルバー → スターリングシルバー

モデルチェンジ ほか

ポストの下に座金が付く/トーンホールのカーリング開始

1972年頃 頭部管に心ロゴマーク刻印
 ピッチ変更 A=440Hz → 442Hz 新スケール採用

1988年2月 コインシルバー → スターリングシルバー
 1995年8月 洋銀部分に銀メッキを採用した新モデル
 1999年 新バッドシステム採用



▲M-111 平型リップ



▲M-112 波型リップ



▲M-113 (旧)ストレートリップ



▲M-112の接続管



▲M-21の接続管



▲M-111 1964頃-1967年製作



▲M-111 1964頃-1967年製作



▲M-70の接続管



▲M-95 1975-1980年製作



▲M-95 1975-1980年製作

管体：銀製／メカニズム：洋銀製

モデル名	開始	終了	仕様	トーンホール	ピッチ
(新) 82号	1955頃	1961頃		引き上げ	440
Model 131	1961頃	1964頃	平型リップ／Cisトリルキー	引き上げ	440
Model 132	1961頃	1964頃	波型リップ／Cisトリルキー	引き上げ	440
Model 133	1961頃	1964頃	(旧)ストレートリップ／Cisトリルキー	引き上げ	440
Model 135	1964頃	1967	(旧)ストレートリップ／カバードキー	引き上げ	440
Model 136	1964頃	1967	(旧)ストレートリップ／リングキー	引き上げ	440
M-80	1967	1972	(旧)ストレートリップ M-R80 はリングキー	引き上げ	440
M-100	1972	1975	(旧)ストレートリップ M-R100 はリングキー	引き上げ	440
M-150	1975	1980	(旧)ストレートリップ M-R150 はリングキー	引き上げ	442
M-180	1980	1988	(旧)ストレートリップ M-R180 はリングキー	引き上げ	442
	1988	1995	ストレートリップ	引き上げ	442
GX	1995	-	ストレートリップ	引き上げ	442

モデルチェンジ ほか

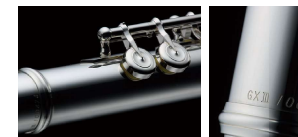
ポストの下に座金が付く／トーンホールのカーリング開始
 ポストの下に座金が付く／トーンホールのカーリング開始／リングキー開始

1972年頃 頭部管に ∞ ロゴマーク刻印
 ピッチ変更 A=440Hz → 442Hz 新スケール採用

1988年2月 コインシルバー → スターリングシルバー
 1995年8月 洋銀部分に銀メッキを採用した新モデル
 1999年 新パッドシステム採用



▲M-180 1980-1995年製作



▲GX 1995-

71号 総洋銀製 1961年製作



M-111 総洋銀製 製作年不明 (1964頃-1967年製作)



M-21 総洋銀製 1968年製作



M-95 頭部管：銀製／その他：洋銀製 1975年製作



EX 頭部管：銀製／その他：洋銀製 (銀メッキ) 2005年製作



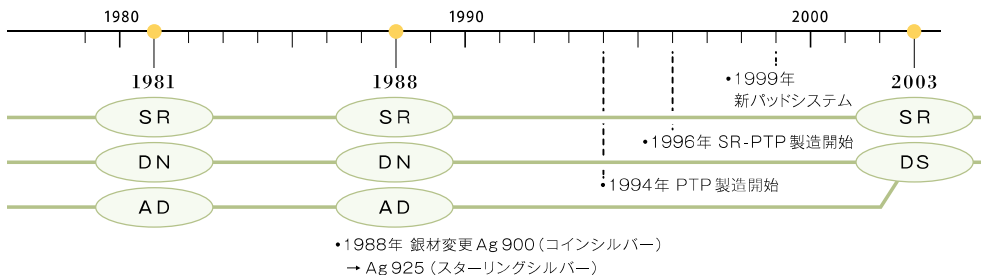
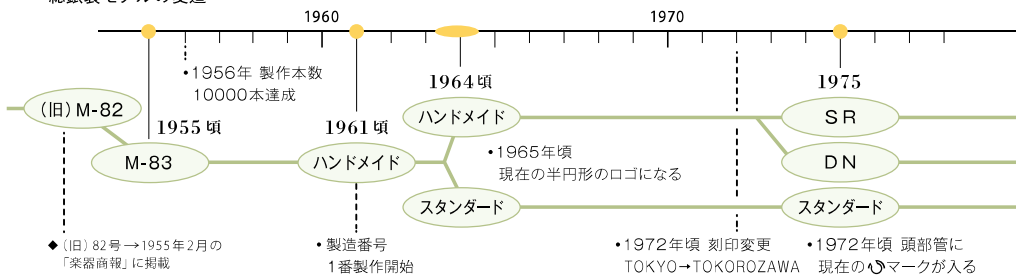
M-180 管体：銀製／メカニズム：洋銀製 1988年製作



GX 管体：銀製／メカニズム：洋銀製 (銀メッキ) 2005年製作



総銀製モデルの変遷



総銀製

モデル名	開始	終了	仕様	トーンホール
83号	1955頃	1961頃	巻管	引き上げ
ハンドメイド	1961頃	-	リングキーも製作	引き上げ
	1964頃	-	H足部管 / Cisトリル / Eメカニズム可	引き上げ / ハンダ付け
	1972頃	1975		ハンダ付け
DN	1975	-	Light管 / Heavy管	引き上げ
	1988	2003		引き上げ
DS	2003	-	2005年 Tsubasa-Lip 開始	引き上げ
	2006	-	Es キーカップ彫刻標準仕様	引き上げ
SR	1975	-	Light管 / Heavy管 / Extra Heavy管	ハンダ付け
	1988	-	Extra Light管 / Heavy管 / Extra Heavy管	ハンダ付け
	1996	-	特殊プラチナメッキ仕様 (SR-PTP) 開始	ハンダ付け
	2003	-	2005年 Tsubasa-Lip 開始	ハンダ付け
	2006	-	Es キーカップ彫刻標準仕様	ハンダ付け
スタンダード (107号)	1964頃	-		引き上げ
	1972頃	-		引き上げ
	1974	-		引き上げ
AD	1975	1981		引き上げ
	1981	-		引き上げ
PTP	1988	2003		引き上げ
	1994	-	特殊プラチナメッキ Light管 / Heavy管	引き上げ
	2003	-	2005年 Tsubasa-Lip 開始	引き上げ
	2006	-	Es キーカップ彫刻標準仕様	引き上げ

ピッチ	モデルチェンジ ほか
440	
440	現在の総銀製以上のモデルに採用している通し番号開始
440	ポストの下に座金が着く 引き上げトーンホールのカーリング開始
440	1972年頃 頭部管に半円マーク刻印
442/445	ハンドメイドから DNモデルと SRモデルへ ピッチ変更 A=440Hz → 442Hz 新スケール採用
442/445	1988年2月 コインシルバー → スターリングシルバー / 1999年 新パッドシステム採用
442	2003年3月 ADモデルと DNモデルを統合した新モデル
442	2009年8月以降 ピッチ A=442 のみ
442/445	ハンドメイドから DNモデルと SRモデルへ ピッチ変更 A=440Hz → 442Hz 新スケール採用
442/445	1988年2月 コインシルバー → スターリングシルバー
442/445	1999年 新パッドシステム採用
442/445	2009年8月以降 ピッチ A=442 のみ
440	ポストの下に座金が付く / トーンホールのカーリング開始
440	1972年頃 頭部管に半円マーク刻印
440	1974年 通し番号 10000番を刻印
442	ピッチ変更 A=440Hz → 442Hz 新スケール採用
442/445	スタンダードから ADモデルへ ポイントアーム採用
442/445	1988年2月 コインシルバー → スターリングシルバー / 1999年 新パッドシステム採用
442/445	1999年 新パッドシステム採用
442/445	DSモデルをベース
442/445	2009年8月以降 ピッチ A=442 のみ

10000本記念 総銀製 1956年製作



スタンダード 総銀製 1978年製作



AD 総銀製 1995年製作



DN 総銀製 1997年製作



金製				
モデル名	開始	仕様	トーンホール	
14K	1964 -	メカニズム：銀／5K(2002-2006)／9K(1989-)／14K(1986-)	引き上げ	
PT (Platinum)	1969 -	メカニズム：銀／9K(1997-)／14K(1998-)	引き上げ	
18K	1978 -	メカニズム：銀／5K(2002-2006)／9K(1999-)／18K(1998-)	引き上げ	
9K	1985 -	メカニズム：銀／9K(1989-) Light管/Heavy管(1989-)	引き上げ	
14K-SR	1986 -	メカニズム：銀／9K(2002-)／9K(2003-)／14K(1997-)	ハンダ付け	
24K	1997 -	メカニズム：銀／9K／14K	引き上げ	
18K-SR	2008 -	メカニズム：銀／9K／14K	ハンダ付け	
24K-SR	2014 -	メカニズム：9K／14K	ハンダ付け	
9K-SR	2015 -	メカニズム：銀／9K Light管/Heavy管	ハンダ付け	

アルト					
モデル名	開始	終了	仕様	トーンホール	ピッチ
M-211	1962	- 1967頃	総洋銀製	引き上げ	440
アルト	1967頃	- 1975	総銀製	引き上げ	440
	1975	-	総銀製	引き上げ	442

ピッコロ					
モデル名	開始	終了	仕様	トーンホール	ピッチ
M-11	1955頃	- 1958	管体：真鍮／メカニズム：洋銀製	引き上げ	※3
M-21	1955頃	- 1962	総洋銀製	引き上げ	440
M-25	1955頃	- 1958	管体銀製／メカニズム洋銀製	引き上げ	440
M-51	1962	- 1964	総洋銀製	引き上げ	440

◆学生ピッコロ(真鍮 ニッケルメッキ)、ピッコロ(並製/真鍮 ニッケルメッキ)、ピッコロ(特製/総洋銀製) → 1955年2月の「楽器商報」に掲載
 ※3. 440と思われるが資料なし ※4. 学生ピッコロは小中高生の器楽合奏、鼓笛隊などのために簡易化された笛

9K ALL GOLD 総9K金製 2006年製作



14+9K GOLD 管体：14K金製/メカニズム：9K金製 2006年製作



18+9K GOLD 管体：18K金製/メカニズム：9K金製 2003年製作



24+9K GOLD 管体：24K金製/メカニズム：9K金製 2003年製作

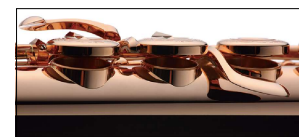


ピッチ		モデルチェンジ ほか	
440→442/445	イエローゴールド、ホワイトゴールドの製作あり 2009年8月以降 ピッチ A=442のみ	440→442/445	2009年8月以降 ピッチ A=442のみ
442/445	2009年8月以降 ピッチ A=442のみ	442/445	2009年8月以降 ピッチ A=442のみ
442		442	
442/445	2009年8月以降 ピッチ A=442のみ	442/445	2009年8月以降 ピッチ A=442のみ
442/445	2009年8月以降 ピッチ A=442のみ	442/445	2009年8月以降 ピッチ A=442のみ
442		442	
442	全ゴールド・モデル 1999年 新パッドシステム採用	442	全ゴールド・モデル 1999年 新パッドシステム採用

モデルチェンジ ほか	
1999年 特殊プラチナメッキ仕様のアルトを製作	

モデルチェンジ ほか	
学生ピッコロ※4 C管のみ(最低音D)	
C管/D管(最低音E♭)	
C管/D管(最低音E♭)	
C管/D管(最低音E♭)	

本モデル変遷は社内資料、カタログ、楽器商報などを元に調査をして掲載しましたが、特別注文などによる例外があることをご了承ください。



▲9K ALL GOLD-SR 2015-



▲14K ALL GOLD-SR 1997-



▲M-21 総洋銀製ピッコロ 製作年不明(1957-1961年製作)



M-211
総洋銀製アルト
1962年頃製作

